

(参考様式4)

事業所名 ホームさくらい

目標達成計画

作成日：令和 6年 1月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	地震等の自然災害発生時の入居者、職員の安全確保と介護ケアを継続できる体制づくりが重要課題となっている。	自然災害に対する業務継続計画を作成し、職員への周知、訓練を行うとともに委員会を定期的に開催して見直しを行う。	6年3月末までに自然災害に対する業務継続計画を作成し、6年度中に職員への研修を実施して周知を図るとともに地震発生時の訓練を実施する。非常食や飲料水等の備蓄数の確認等を実施する。	12ヶ月
2	23	入居者の重度化が進む中、入居者の状況変化への対応に苦慮することも多くなってきている。	入居者の重度化に対応するケアのあり方を検討し、当グループホームで可能なケアの方針についてまとめる。	風呂などの設備状況を踏まえながら当施設で対応できる入居者のケアについて検討し、対応不可能な場合の事例等をまとめる。	12ヶ月
3	12	月に1回の内部研修等は実施しているが、外部研修やWEB研修なども含めて計画的な職員育成計画が必要となっている。特に認知症への理解や介護技術に対する個人差があり、入居者ひとり一人の人格や思いを尊重したケアへの対応が課題となっている。	職員のキャリアに応じた研修体系を整備し、実施することにより認知症ケア等について職員の資質向上を図る。	年間を通じた研修計画を作成し、実施する。合同職員研修においてグループワークを取り入れ、全職員の情報共有や介護職員としての意識を高める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。